

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市松峰園

【概要】障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労継続支援B型事業サービスを適切に提供し、障害者の自立を支援しました。

【事業実績】

月	就労継続支援B型	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	45	21	0	0	802	38.2
5	45	21	0	0	796	37.9
6	45	22	0	1	840	38.2
7	44	21	0	0	768	36.6
8	43	20	0	1	700	35.0
9	43	21	0	0	754	35.9
10	43	22	0	0	747	34.0
11	43	21	0	0	744	35.4
12	43	21	0	0	747	35.6
1	42	20	0	0	701	35.1
2	43	20	0	0	710	35.5
3	43	21	0	0	722	34.4
計	522	251	0	2	9,031	36.0
前年度	552	248	0	0	9,075	36.6

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年5月18日	虐待及び苦情研修会	気仙沼市松峰園
6月22日	令和5年度福祉サービス事業者等集団指導	中央公民館
6月27日	第53回事故防止対策委員会	市社協本所
7月27日	宮城県サービス管理責任者等更新研修	オンライン
8月3日	安全運転管理者等講習	はまなすの館
8月29日	第54回事故防止対策委員会	市社協本所
9月28日	法人決算×就労会計：オンラインセミナー	オンライン研修研修
10月24日	自家用自動車整備管理者講習会	ポリテクノセンター宮城
10月24日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	市社協本所
11月22日	第2回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	市社協本所
12月15日	令和5年度「精神疾患を学ぶ」研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月20日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	オンライン研修
令和6年1月24日	第2回就労継続支援B型ワーキング	市民福祉センターやすらぎ

【成果】8月に利用者家族で新型コロナウイルスの罹患者が数名出ましたが、施設内消毒等を徹底し、感染拡大防止に努め、閉所することなく運営することができました。

目標工賃達成指導員を中心に生産活動を展開し、新たな生産活動も軌道に乗せ生産活動の収入が増加しました。

(令和5年度障害福祉サービス等事業収入目標達成率97.7% 前年度97.4%)

【課題】退所者、長期欠勤者が増加傾向にあり、新規利用者の獲得が課題です。また、高齢化により家庭での予期せぬ怪我や疾患により長期欠席となるケースが増えています。利用者の健康管理に努め安定した事業運営に繋がります。

【今後の取組】就労支援生産活動の内容を精査し、公共施設の清掃作業等を中心に作業を進め安定した収入を確保し、利用者工賃の反映が図れるよう努めます。

事業活動による収入 76,160,209円

事業活動による支出 76,584,550円

施設整備等による支出 992,640円

その他の活動による支出 7,883,400円

(基金への繰出し 6,500,000円)

当期資金収支差額 1,869,849円

(2) 気仙沼市みのりの園

【概要】障害があっても地域で安心して生活できるよう、利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら、生活の質の向上と自立に向けたサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	31	22	0	0	452	20.5
5	31	22	0	0	459	20.9
6	31	22	0	0	468	21.3
7	31	22	0	1	355	16.1
8	30	22	0	1	378	17.2
9	29	22	0	0	411	18.7
10	29	22	0	0	461	21.0
11	30	22	1	0	484	22.0
12	31	22	1	0	473	21.5
1	31	21	0	0	356	17.0
2	31	21	0	1	432	20.6
3	30	22	0	0	453	20.6
合計	365	262	2	3	5,182	19.8
前年度	378	255	1	1	5,211	20.4

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月12日	市立2病院の医療機能再編に係る説明会	気仙沼市立本吉公民館
6月1日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園
6月22日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導（オンライン）	気仙沼市松峰園
6月26日	令和5年度クレーム対応基本編オンライン研修	気仙沼市みのりの園
7月26日	令和5年宮城県サービス管理責任者WEB研修	気仙沼市みのりの園
8月18日	虐待防止・権利擁護研修会	気仙沼市本吉保健福祉センターいこい
9月14日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園
11月14日、17日、22日	令和5年度救急救命講習	社協本吉支所
12月15日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園
12月20日	福祉サービスの苦情解決に関するオンライン研修	気仙沼市みのりの園
令和6年1月12日	福祉施設のBCP作成を通じた防災リーダー養成研修（前期）	気仙沼市民会館中ホール
2月14日	福祉施設のBCP作成を通じた防災リーダー養成研修（後期）	気仙沼市民会館中ホール
3月21日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導（オンライン）	気仙沼市松峰園
3月25日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園

※その他、職員会議の開催の他、小泉地区ハザードマップ作成ワークショップに参加しました。

【成果】利用者の健康と安全確保を最優先に、新型コロナウイルス感染予防を徹底ながらサービス提供に努めましたが、7月、8月に利用者及び職員が相次いで感染し、1月にもケアホーム職員等の感染を受けて健康観察のための欠席が続き、利用率及び収入が減少しました。利用者の余暇支援と家族のレスパイトケアを目的とした臨時開所を年間19日実施し、延233名が利用されました。利用者の意向に合わせて創作活動やレクリエーション等のサービスを提供し、本人及び家族のニーズに応え、一定の収入に繋げることができました。

（令和5年度障害福祉サービス等事業収入目標達成率99.4% 前年度80.8%）

【課題】当事業所やケアホーム利用者・関係者に感染症が発生した場合、療養や利用控えによる欠席となるため、収入面に大きく影響を及ぼしてしまう状況が続いています。身体機能の低下や家族の意向により3名が退所され、全体の契約者数は減少しています。利用者の介護度は年々高まっており、個々の障害特性や日々の状態に配慮したサービスを提供するには、現在の施設環境では手狭な状況となっています。また、家族の高齢化も相まって、今後家庭で支援が難しくなった場合に、いつでも安心して生活が送れるようなサービスの必要性が高まっています。

【今後の取組】様々な研修に参加し自己研鑽に努め、職員の専門性を高めながらサービスの質向上を図ります。利用者一人ひとりが生きがいややりがいを感じて通所できるよう、個々のニーズに応じた活動を提供しながら、より望まれる事業所を目指します。
非常災害時や感染症発生時においても、人命を優先した迅速かつ的確な対応を目指し、訓練を重ね、安心して利用頂けるよう努めます。
各相談支援事業所や教育機関との連携を強化し、地域から選ばれる事業所となるよう、工夫と改善を図ります。

【決算】事業活動収入	41,079,661円	事業活動支出	41,352,828円
		施設整備等による支出	693,000円
		その他の活動による支出	1,533,310円
		当期資金収支差額	-2,499,477円
		(前期末支払資金残高から充当)	

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法及び気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、宮城県障害児等療育支援事業を適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。また、令和元年度より開始した「保育所等訪問支援事業」や県から「宮城県障害児等支援事業」を受託し、宮城県発達障害者地域支援マネジャーを配置することにより、教育・医療機関との連携が更に強化されました。障害児者やその家族、支援者が地域で安心して生活が送れるよう支援支援に努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援 放課後等デイ	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	16	20	2	0	130	6.5
	32	24	8	0	256	10.7
5	16	20	1	1	124	6.2
	30	24	0	0	220	9.2
6	17	22	1	0	139	6.3
	32	26	0	0	268	10.3
7	17	21	0	0	139	6.6
	31	25	0	0	239	9.6
8	17	22	0	0	134	6.1
	29	27	0	0	199	7.4
9	19	21	0	0	139	6.6
	31	24	0	0	218	9.1
10	21	22	2	0	152	6.9
	32	25	0	0	220	8.8
11	20	21	0	0	160	7.6
	32	24	0	0	223	9.3
12	23	20	2	1	178	8.9
	31	24	0	0	206	8.6
1	25	19	3	0	180	9.5
	31	23	0	0	189	8.2
2	25	20	0	1	188	9.4
	32	23	0	0	237	10.3
3	24	21	0	9	154	7.3
	32	25	0	2	221	8.8
計	240	249	11	12	1,817	7.3
	375	294	8	2	2,696	9.2
前年度	234	247	8	10	1,889	7.6
	345	293	6	5	2,028	6.9

【保育所等訪問支援事業】

月	契約者数	解約者数	訪問回数
4	継続16・新規2	0	11
5	6	0	23
6	2	0	26
7	3	0	26
8	0	0	22
9	1	0	28
10	0	0	25
11	0	0	25
12	1	1	28
1	1	0	27
2	0	0	31
3	1	4	23
計	33	5	295
前年度	16	0	146

令和6年3月31日現在の利用状況

小学校・・・9校（13人）

中学校・・・1校（1人）

保育所・・・9園（13人）

幼稚園・・・5園（6人）※認定こども園含

【宮城県障害児等療育支援事業】

相談件数119件 主な内訳としては下記のとおり

- (1) 来所による療育指導（相談件数：48件）電話対応含む
 - ・相談の傾向：保育所や幼稚園、学校に関すること
 - ・支援の内容：幼稚園や保育所との連携
- (2) 訪問による療育相談・指導（相談件数：71件）
 - ・相談の傾向：受診や相談について・障害特性について 等
 - ・主な内容：保育所や幼稚園の対応方法・本人の関わり方 等
- (3) 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業等の療育技術の指導
 - ・地域のニーズや支援内容：障害のある子どもの対応について
- (4) 発達障害者地域支援マネジャーとの連携（連携の具体例について）
 - ・ペアレント・プログラムの実施（気仙沼・南三陸町）
 - ・幼稚園・保育所、小学校での対応困難児に対しての巡回訪問の実施
 - ・障害児者のコンサルテーションや事例検討
 - ・医療相談への同行

【発達障害者地域支援マネジャー配置事業】

- (1) 相談件数 321件
 - 未就学：97件 小学生：128件 中学生：32件 18歳以上：64件
- (2) 市町村及び事業所等への支援
 - ・講師派遣 気仙沼市特別支援コーディネーター連絡協議会
特別支援教育支援員研修会
旭ヶ丘学園児童家庭センター所内研修
南三陸町子育て講座
いっぽ「ママカフェ」ミニ講座
気仙沼市教育サポートセンター「SSWとの情報交換会」
ひまわり教室（気仙沼・南三陸）
気仙沼市立小泉小学校保護者研修会
鹿折こども園職員研修会
 - ・他機関主催の会議に出席
- (3) 家族支援
 - ・ペアレント・プログラムの実施
- (4) その他
 - 医療機関との連携 5件（新患紹介4件/再掲1件）

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月27日	令和5年度発達障害支援者基礎研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
5月23日	親の会総会／事業所紹介	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
5月25日	第1回気仙沼市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	気仙沼市教育委員会
5月28日	就学に関するガイダンス	気仙沼市教育委員会
5月30日	令和5年度宮城県子ども若者支援地域協議会	登米合同庁舎
6月 2日	宮城県、気仙沼市障害児通園施設連絡協議会研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
6月 2日	第1回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
6月 6日	第6回多職種セミナー「メディアとの付き合い方」	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
6月22日	障害福祉サービス事業者等集団指導	気仙沼市松峰園（オンライン）
6月26日	第1回技術支援研修（読み書き困難の背景）	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
7月13日	保護者勉強会「障害年金について」	市民福祉センターやすらぎ
7月26日	気仙沼市地域生活支援拠点等整備事業実施に係る説明会	気仙沼市地域交流センター
8月 2日	防犯講習会	ワッペン庁舎
8月 4日	ペアレント、トレーニングの概要と支援へのヒント	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
8月10日	圏域別研修会	気仙沼保健福祉事務所
8月23日	応用分析学の基礎と活用について	気仙沼支援学校
8月26日	子どもの抑うつ	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
9月15日	第2回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
9月26日	令和5年度宮城県オンライン居場所支援モデル事業説明会	石巻交流センター
10月 2日	障害者・支援困難者に対する住民支援	健康福祉センター「すこやか」
10月 3日	気仙沼市と保護者懇談会	健康福祉センター「すこやか」
10月12日	対応が難しい子どもを持つ家庭への家族支援	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）

10月24日	第1回虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会	気仙沼市社会福祉協議会
10月26日	第2回気仙沼市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	気仙沼市教育委員会
10月29日	強度行動障害啓発研修	石巻河北総合センタービッグバン
11月8日	第2回 実務担当部会	石巻かわまち交流センター
11月11日	保護者勉強会	気仙沼市松峰園
12月7日	第4回 気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
12月7日	生活・子ども支援部会 ワーキンググループ	市民福祉センターやすらぎ
12月12日	第2回 技術支援研修	こども総合センター
12月15日	令和5年度発達障害支援セミナー不登校・引きこもりから発達障害を考える	こども総合センター
12月18日	令和5年度中間監査状況／令和6年度事業計画 等	気仙沼市社会福祉協議会
12月22日	令和5年度宮城県発達障害者支援推進会議広域特別連携協議会合同会議	宮城県自治会館
令和6年1月12日	福祉施設のBCP作成を通じた防災リーダー養成研修（前期）	気仙沼市民会館中ホール
1月15日	うめだ・あけぼの学園見学報告会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
1月23日	令和5年度第2回気仙沼市障害者福祉フォーラム	市民福祉センターやすらぎ
1月30日	生活・子ども支援部会 ワーキンググループ	市民福祉センターやすらぎ
1月30日	気仙沼市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	気仙沼市教育委員会
1月30日	発達障害者支援機関打合せ	こども総合センター
2月5日	グートキーパー要請講座	市民福祉センターやすらぎ
2月10日	第3回 技術支援研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月10日	オンライン技術を活用した子ども達への支援	こども総合センター
2月18日	障害者差別解消法及び合理的配慮 基礎研修	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月22日	発達障害者地域支援マネジャー全国大会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
2月29日	成人期発達障害支援スキルアップ研修会	気仙沼市マザーズホーム（オンライン）
3月7日	令和5年度気仙沼市特別教育推進委員会	気仙沼市教育委員会
3月12日	「あそびの会」振り返り	市民健康管理センターすこやか
3月13日	気仙沼市手を繋ぐ育成会連合会	気仙沼市立新城小学校
3月21日	障害福祉サービス事業者等集団指導	気仙沼市松峰園

【成果】児童発達支援事業は、未就学児を対象としていることから、日常生活習慣作りや外出行事等により社会性を育むことを中心に支援を行い、家族から好評を得ました。放課後等デイサービス事業においては、利用者の増加に伴い、利用率も上がり収益の増加に繋がっています。また、保育所等訪問支援事業は、相談支援専門員からの評価が高く契約数も昨年度の倍になりました。

「宮城県障害児等療育支援事業」において、圏域では当園のみで取り組んでいる「ペアレント・プログラム」を今年度は行政の協力体制も整え保護者への支援を行いました。また、初めて南三陸町において実施しました。

宮城県発達障害者地域支援マネジャーの設置は、2次支援機関として、支援者支援の講師依頼や学校や幼稚園への訪問、成人期の相談と地域にとって必要な専門支援機関としての機能を担っています。

（令和5年度障害福祉サービス等事業収入目標達成率128.7% 前年度93.5%）

【課題】出生児の減少に伴い、将来的に児童発達支援事業の利用児の減少が想定されます。

乳幼児健診後のフォローアップ会等に参加し、当園の利用に繋がるように努めます。

また、保育所等訪問支援事業の理解が進むことで当該事業の利用希望が増えてきており、今後対応職員の体制強化についても検討が必要です。

放課後等デイサービス事業において、学校の長期休業中の活動場所として近隣の施設を活用している状況から、更に内容に工夫を施しながら対応していく必要があります。

当園に係る全ての事業において、保護者や各関係機関からの要望と困難対応のケースが増えてきています。研修等を通じて、職員の更なるスキルアップに取り組む必要があります。

【今後の取組】これまでの活動実績により、関係機関との連携が構築され保育所等訪問支援事業や宮城県障害児等療育支援事業、宮城県発達障害者地域マネジャー配置事業が地域に定着し始め、療育の中核的役割が求められています。今後、児童発達支援センターへの移行を視野に入れ、行政との連携を図りながらペアレント・プログラムやペアレント・トレーニングを取り入れた保護者支援と利用児・家族に寄り添った支援を心掛けます。

【決算】事業活動による収入	69,427,261円	事業活動による支出	42,649,353円
施設整備等による収入	172,480円	施設整備等による支出	382,280円
その他の活動による収入	2,485,570円	その他の活動による支出	24,043,360円
		（基金への繰出23,500,000円含む。）	
		当期資金収支差額	5,010,936円

(4) 指定特定相談支援事業（松峰園相談支援センター）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に指定計画相談支援及び指定障害児相談支援を行いました。

【事業実績】

月	新規契約者	実契約者	計画作成者数	更新	モニタリング
4	障害者	0	51	0	6
	障害児	0	22	1	3
5	障害者	0	51	1	5
	障害児	0	22	1	4
6	障害者	0	51	11	10
	障害児	1	23	2	6
7	障害者	0	51	1	12
	障害児	1	23	2	4
8	障害者	0	51	0	6
	障害児	0	23	0	4
9	障害者	0	51	1	24
	障害児	1	24	1	5
10	障害者	0	51	3	6
	障害児	2	26	1	3
11	障害者	0	51	2	7
	障害児	0	26	1	5
12	障害者	0	51	0	17
	障害児	1	29	2	5
1	障害者	0	51	1	10
	障害児	1	30	5	6
2	障害者	0	51	0	5
	障害児	0	30	4	4
3	障害者	0	51	3	19
	障害児	1	31	6	3
計	障害者	0	612	23	127
	障害児	8	309	26	52
前年度		21	734	32	139

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月19日	第1回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
5月17日	第2回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
5月18日	松峰園全体職員研修会	気仙沼市松峰園
6月21日	第3回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
7月13日	マザーズホーム保護者研修会	市民福祉センターやすらぎ
7月19日	第4回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
9月 6日	臨時相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
9月20日	第6回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
10月18日	第7回相談連絡会	市民福祉センターやすらぎ
11月15日	第8回相談連絡会	市民福祉センターやすらぎ
11月19日	令和5年度宮城県相談支援従事者現任研修	宮城県庁講堂
12月 7日	気仙沼市障害者地域自立支援協議会 生活・子ども部会	市民福祉センターやすらぎ
12月20日	第2回相談支援専門員研修会	市民福祉センターやすらぎ
令和6年1月13日	令和5年度宮城県相談支援従事者現任研修	宮城県庁講堂
1月18日	第2回気仙沼市権利擁護研修会	本吉保健福祉センターいこい
1月25日	第10回相談連絡会	市民福祉センターやすらぎ
2月 5日	ゲートキーパー養成講座	市民福祉センターやすらぎ
2月21日	第11回相談連絡会	市民福祉センターやすらぎ

【成果】市内に在住する利用者本人や家族、各関係機関より依頼を受け、障害者612件、障害児305件のサービス計画作成、モニタリング等を実施し適切なサービスの提供に努めました。

(令和5年度障害福祉サービス等事業収入目標達成率146.8% 前年度140.6%)

【課題】障害をもつ利用者や家族の高齢化、また障害児の受け入れ等によって相談内容も多岐にわたり、課題解決のために利用できる福祉サービスの種類も細分化することからより丁寧な説明を行い、利用者の適切なサービスへ繋げる支援が必要となります。

【今後の取組】市障害者生活支援センターや他相談支援事業所等の関係機関と情報の共有化を図り、地域生活支援拠点等整備事業の活用等が円滑に行えるよう支援に取り組めます。

【決算】事業活動による収入	3,830,920円	事業活動による支出	1,644,353円
		施設整備等による支出	140,800円
		その他の活動による支出	1,000,000円
		(基金への繰出1,000,000円)	
		当期資金収支差額	1,045,767円

(5) 指定共同生活援助事業（グループホーム「つばさ」）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、買物支援や通院支援等について日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	入所者数	退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	22	0	0	82	3.7
5	4	22	0	0	81	3.7
6	4	22	0	0	83	3.8
7	4	22	0	0	82	3.7
8	4	21	0	0	64	3.0
9	4	23	0	0	83	3.6
10	4	23	0	0	86	3.7
11	4	22	0	0	85	3.9
12	4	22	0	0	81	3.7
1	4	22	0	0	81	3.7
2	4	22	0	0	82	3.7
3	4	23	0	0	83	3.6
計	48	266	0	0	973	3.6
前年度	48	268	0	0	976	3.6

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年5月18日	職員研修（虐待及び苦情について）	気仙沼市松峰園
5月21日	避難訓練	グループホームつばさ
6月2日	職員研修（新型コロナウイルス感染症の5類感染移行後の対応について）	気仙沼市松峰園
9月1日	世話人、職員研修（感染症対策について）	気仙沼市松峰園
	前期モニタリング、原案会議	気仙沼市松峰園
9月21日	個別面談	気仙沼市松峰園
9月28日	実地指導	グループホームつばさ
11月22日	令和5年度第2回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	市社協本所
12月15日	令和5年度「精神疾患を学ぶ」研修会	宮城県気仙沼保健福祉事務所
令和6年1月24日	令和5年度第2回気仙沼市権利擁護研修会	本吉健康福祉センター
2月5日	ゲートキーパー養成講座	市民福祉センターやすらぎ
3月1日	世話人、職員研修（倫理及び法令遵守について）	気仙沼市松峰園
3月8日	令和5年度気仙沼障害福祉フォーラム情報交換会	市民福祉センターやすらぎ

【成果】8月に入居者1名が帰省中、同居家族からの新型コロナウイルス感染により利用日数が減少したものの、それ以外は安定した利用状況で推移し、給付費収入についても均衡を保てることができました。

（令和5年度障害福祉サービス等事業収入目標達成率112.6% 前年度95.6%）

【課題】入居者の高齢化によって、年を経るごとに通院支援の必要性や回数が増えています。また、日常生活では入浴や排泄などの介助支援が増えています。

【今後の取組】入居者の様々な病気や感染症等への対策を取りながら、日々の健康管理に努め、安心して利用できるよう寄り添った支援に取り組めます。またバックアップ施設である気仙沼市松峰園の臨時開所に合わせて、土日の利用を促しながら入居者や家族の希望に添った生活支援を行います。

【決算】事業活動による収入 5,994,411円 事業活動による支出 5,818,940円
当期資金収支差額 175,471円

9. 居宅介護等事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 訪問介護ステーションからくわ

【事業実績】

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	13	12	11	12	12	14	13	12	12	12	11	11	145	159
回	129	135	134	131	107	164	132	130	131	138	119	126	1,576	1,601

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	3	3	2	1	2	3	3	2	3	3	3	4	32	40
回	30	19	5	2	5	5	9	5	9	8	7	7	111	229

【成果】身体、精神疾患を抱えている利用者に対し、コミュニケーションを大切に行い、寄り添った支援を行いました。緊急依頼にも随時対応し、本人にとって必要なサービスが十分に供給されるように努めました。また、感染症については、職員間で情報共有を密にし、感染防止に向けた取り組みを徹底し、業務を遂行しました。

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・居宅介護 130.9% 前年度 100.2%)

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・同行援護 51.1% 前年度 110%)

【課題】利用者の高齢化、疾病の進行による身体的能力の低下で在宅生活が困難になり、施設入所に移行するケースが増えました。また、親亡きあとの不安から今後、入所を検討しているケースも多く、終末期までの支援は難しいと思われます。職員の高齢化や担い手不足の問題にも直面しており、今後、人材確保解消の取り組みを行う必要があります。

【決算】事業活動収入 13,970,496 円 (居宅介護 13,097,746 円、同行援護 872,750 円)

事業活動支出 13,613,600 円 (居宅介護 12,804,600 円、同行援護 809,000 円)

当期資金収支差額 356,896 円 (居宅介護 293,146 円、同行援護 63,750 円)

(2) ヘルパーステーションもとよし

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	5	7	7	7	7	8	8	8	8	8	9	9	91	69
回	44	76	112	125	119	103	107	102	101	97	106	106	1,198	1,189

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	4	4	40	32
回	42	44	45	42	36	40	46	44	48	47	45	46	525	453

【成果】障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。新規受入れにも早急に体制を整え対応しました。関係機関との連携を密にし、本人や家族の不安を軽減するための助言やサービスを提供しました。今後も総合的に支援できる体制づくりに力を注いでいきます。

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・居宅介護 145.7% 前年度 106.7%)

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・同行援護 123.5% 前年度 100%)

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、若手を含むヘルパー育成を含めた提供体制の再構築が課題となっています。また、利用者のほとんどが独居世帯であり、地域や支援センターなどの関係機関との連携が不可欠です。

【今後の取組】住み慣れた地域で安心して生活できるように、一人ひとりのニーズに合わせた迅速かつ丁寧な質の高いサービス提供が図れるように、研修会等へ積極的に参加し、職員個々の自己研鑽に努めます。また、各関係機関との連携を密にし、職員間の意思疎通を徹底して体制の構築に努めます。

【決算】事業活動収入 7,226,260 円 (居宅介護 4,045,580 円、同行援護 3,180,680 円)

事業活動支出 7,264,000 円 (居宅介護 4,117,000 円、同行援護 3,147,000 円)

当期資金収支差額 -37,740 円 (居宅介護 -71,420 円、同行援護 33,680 円)

10. 地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

(1) 訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	1	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	9	14
回	8	15	17	17	10	0	0	0	0	0	0	0	67	101

【成果】唐桑地区の継続利用の他に新規で1名の利用がありました。入浴により安心して心地良く感じていただき、皮膚状態の改善も図れるよう、丁寧なサービス提供に努めました。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率 66.6% 前年度 102.5%)

【課題】令和5年8月を最後に契約者2名は、施設入所と訪問看護での自宅入浴(シャワー浴)へ移行となりました。関係機関への周知活動は継続しており、新規利用の受け入れを随時図っております。

【今後の取組】利用者確保に向けた周知活動を継続するとともに、利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との連携を密にしながらチームケアに取り組みます。障害に関する各種研修会等に積極的に参加し、職員個々の資質向上に努めます。

【決算】事業活動収入 800,000 円 事業活動支出 809,600 円 当期資金収支差額 -9,600 円

11. 在宅福祉事業

事業名	内 容
移送サービス事業	【概要】 家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両貸出を行うことで、社会生活への参加促進を図りました。 【実績】 移送利用：0件 貸出利用：21件 【成果】 通院や転院のため、定期的に利用される方もおり、費用面で助かっているという声をいただいています。なお、これまで大きな事故やトラブルはありませんでしたが、万が一に備えドライブレコーダーを取り付けました。 【課題】 移送利用について検討する必要があります。 【今後の取組】 当面は貸出を中心としながら、社協だより等で事業を周知するとともに、移送利用について検討します。 【決算額】 320,642 円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】 虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯間との交流を対象に行うふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金を交付しました。食事サービスについては、地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】 申請団体：8団体 利用者延べ：1,377人 【成果】 配食を通してボランティア団体と地域高齢者等が交流する機会や見守りの一助となっています。 【課題】 現在、地区社協圏域を対象とした事業実施がほとんどとなっていますが、ますます高齢化が進む中で、自治会単位での事業実施を推進する必要があります。 【今後の取組】 高齢化が進む中で、ますます地域での繋がりが大切になることを伝えながら、自治会等の小さな範囲での活動が増えるよう地域に呼び掛けます。 【決算額】 432,976 円
安否確認訪問サービス事業	【概要】 大船渡ヤクルト販売㈱さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回（月・水・金）配達を通じての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】 利用者：13人 利用延本数：995本 【成果】 一人暮らし及び高齢者世帯の方の見守りの一助となっています。また、緊急対応となるケースはありませんでした。 【課題】 利用者不在時の対応や社協への連絡の遅れについては、以前よりも改善されてきていますが、継続した課題となっています。 【今後の取組】 業者との連絡を密に取り合い、不在時等の対応について改善を目指します。 【決算額】 36,622 円

介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】所有する福祉用具の貸出により、要介護状態にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす 24台 ベッド 0台 本吉 車いす 13台 ベッド 2台 【成果】住み慣れた地域で、在宅生活を送ることができました。また、福祉教育の現場に貸し出し、子供たちが車いすの扱い方について学ぶことで、福祉用具を必要とする方々への思いやりの心を育むことができました。 【課題】近年、歩行器や子供用車いすの用具の問い合わせが増えており、貸出用用具について見直しを行う必要があります。 【今後の取組】今後も継続して要介護状態にある方の在宅生活を支援するとともに、介護機器・福祉用具を必要とするボランティア活動や福祉教育学習のサポートを行います。
配食サービス	【概要】見守りを必要とする虚弱な高齢者の単身世帯等へ定期的に食事を提供することで、安否確認を行っています。毎週火・木・金曜日のうち週1～2回の利用ができるものとし、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しています。 【実績】 気仙沼地域 利用者：16人 配食数： 817食 唐桑地域 " : 2人 " : 111食 本吉地域 " : 15人 " : 251食 " 計33人 " 計1,179食 【成果】緊急対応となるケースはありませんでした。新規申請があった際に、ケア会議が実施されることで適切なサービス利用に繋がっています。 【課題】困難ケースが増えており、各関係機関との更なる連携が必要となる他、ボランティアの配達対応に関して検討が必要です。 【今後の取組】市担当課及び関係機関との定期的な話し合いの場を設けます。また、定期的に利用者のモニタリングをし、適切な利用の維持に努めます。 【決算額】 3,105,100円
生きがい活動支援通所事業 （元気老人デイサービス事業） 気仙沼・唐桑地区	【概要】おおむね65歳以上の高齢者を対象に、市民福祉センター、保健福祉センター及び地域の福祉施設、振興会館、公民館等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 : 369回 延利用者数 : 6,802人 【成果】今年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更されましたが、引き続き感染予防対策に取り組みながら、市民福祉セン

本吉地区

ターやすらぎを拠点に、公民館等も利用しながら、各種集いや介護予防事業を実施しました。会員数の多い健康麻雀については、雀卓に飛沫防止シートの設置や開始前後の牌等の消毒等を徹底し、班編成や開催回数を見直すなどして、活動を進めてきました。このほか、介護予防事業においても、人数制限の枠を外したことにより多くの方に参加していただきました。

また、今年度初めての取り組みとして「集い交流パークゴルフ体験」を開催したところ、各種集いから多くの参加があり、日頃関わりの少ない会員同士による交流の機会の拡大につなげることができました。

【課題】 集い参加者の年齢層が高くなっていることから、送迎に関して自宅からバス停までの移動も大変になっている方も見受けられるようになっており、ルート設定も含めた送迎の見直しの検討が必要となっています。

【今後の取組】 健康麻雀の集いについては、一堂に会して以前のように月2回の活動を目指しています。「集い」としては、引き続き高齢者の学びの場・健康づくりの場として楽しい仲間づくりの機会を提供し、高齢者の健康増進やフレイル予防の支援に努めます。

【実績】 延利用回数 : 234回

延利用者数 : 2,391人

【成果】 栄養士や理学療法士等、専門職から健康維持に関するポイントや消費者トラブルについての講話により、日常生活を振り返るとともに、生活の質向上への意識付けを促す機会となりました。

「気仙沼市主催による高齢者保健事業と介護予防事業の一体的な取り組み」としての本吉地域での事業については、田東親和会を対象に、フレイル予防に関する指導や啓発等の機会が提供されました。

活動予定の無い空き日を利用して料理教室を実施。食の振り返りとお楽しみがもて、参加者相互の親睦が深められました。

また、活動予定の無い日を利用しての料理教室により、職の振り返りとお楽しみがもて、参加者相互の親睦が深められました。

【課題】 利用者の高齢化に伴い身体機能等の低下が見られ、送迎車輛乗降の際に補助が必要な状況となっています。

利用者の確保についても課題となっており、しばらく利用をされていない方には、自宅訪問や電話にて体調や生活状況を伺いながら、関係性を切らすことなく利用再開へ繋がるよう声掛けをしています。新規利用者の獲得を考慮し、料理教室を開催したものの、新たな獲得には繋がらず、周知の仕方など課題となっています。

【今後の取組】 感染予防を継続し、家庭でも取り組めるような体操等を取り入れながら、体力や筋力の維持を図ります。活動場所や活動内容等についても、団体や利用者の方々と話し合いながら、効果的な事業実施に向けて取り組みます。現在の利用者以外にも、グループを持たずに個別でも参加できる内容を組み込み、比較的若い層の獲得へ向けて検討を進めます。

【決算額】 20,174,581円

家族介護者交流事業 (家族介護者交流)	【概要】高齢者を介護している方々の介護者相互の交流を通し、一時的ではありますが介護から開放することにより、気分転換や心身のリフレッシュを図ることに努めました。 【実績】2回(10月23日, 令和6年3月22日) (1回目)体験「アロマハンドマッサージ」と「アロマスプレーづくり」, 交流カフェ (2回目)日帰り交流(入浴、交流、個別健康チェック、相談等) 【成果】介護者同士の交流により、日頃の悩みを話すことができました。参加者からは「この交流が楽しみ。気分転換になるので、今後もし是非続けて欲しい。」等のお話も聞かれ、参加者のリフレッシュに繋げることができました。 【課題】参加者からも「もっと多くの人が参加すると良いのに」という声も出ており、多くの方に参加して頂けるよう工夫していく必要があります。 【今後の取組】介護者の方々が参加してみたいと思える企画と、周知方法を検討するとともに、市内各ケアマネ事業所には周知について協力をいただき、介護者が参加しやすくなるようサービス調整などについて、働きかけるなど、様々な機関と連携しながら事業を実施していきます。 【決算額】 187,161 円
家族介護教室事業 (家族介護教室)	【概要】高齢者を介護している家族等に対し、介護者が求めるテーマに基づく家族介護教室の開催により、要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。 【実績】1回 11月16日(木) 参加者 8名 内容 講話「お口の健康～かむ力と飲み込む力～」 【成果】在宅で介護される際に役立つ正しい姿勢での食事、飲みやすくする方法などを知っていただく機会となり、参加された方のアンケートでも分かりやすかったという意見が多く出されました。 【課題】在宅で介護されている方々の負担軽減にも繋がる事業であることから、多くの方に参加していただけるよう周知等を工夫していく必要があります。 【今後の取組】参加者のアンケート内容を基に、関心の高いテーマを取り上げ、参加者にとって有意義な教室になるよう努めるとともに、より多くの方が参加できるように周知方法を検討していきます。 【決算額】 22,578 円
外出支援サービス事業	概要】リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】延利用者数 1人(実利用者1人) 延利用回数 2回(自宅から目的地までの片道を1回で集計) 【成果】リフト付きの車両での送迎が必要な方の定期的な通院時の移動支援の一助を担うことができました。 利用者のご逝去によりサービスを終了しましたが、今後は、本会の移送支援サービス事業にて対応していくこととします。 【決算額】 10,230 円

生活支援体制整備事業	【概要】 互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的に活動しました。地区社協圏域ごとに担当職員（地域支え合い推進員）を専任配置し、支え合いの地域づくりに取り組みました。 【実績】 ・第1層地域支え合い推進員（兼任1名）活動件数 227件 ・第2層地域支え合い推進員（専任9名）活動件数 5,473件 ・地域支え合いフォーラムの開催 ・社協だよりによる地域支え合い活動の発信 ・けせんぬま支え合いだより（vol.3）作成及び発行 ・地域支え合い推進員連絡会議開催 11回 ・第1層地域支え合い推進員定例会参加 12回 【成果】 地域で交流する場の再開や支え合いの地域づくりに向けて、第2層推進員9名が地域の関係者や住民と丁寧に向き合いながら、地域活動の後方支援や、活動に困っている際には他地区の好事例を情報提供するなど、「支え合い活動」を地域全体に広げるための取り組みを進めています。併せて、令和5年度も「フレイル対策」の啓発普及のための「フレイル予防講座」に協力しながら、コロナ禍で地域活動が休止している団体の交流活動再開のきっかけづくりを支援しました。地域支え合い推進員と一緒に地域活動を支援協力する目的の地域支え合い協力員の配置状況は、10地区社協圏域で15人となっています。 【課題】 「自分たちが地域でどのように暮らしていきたいか」「どのような支え合いがあれば地域で暮らしていけるか」など、「地域の目指す姿」をできるだけ多くの人たちで考えられるよう、話し合いの場づくりに向けた働きかけが必要です。 【今後の取組】 地域で集う場の開催支援に努めながら、日常生活圏域ごとに話し合いの場（協議体）の設置を進め、地域の生活課題解決に向けた小地域における「自助」「互助」による住民主体の支えあい活動の立ち上げに向けて、関係機関と協働しながら伴走型で支援します。 【決算額】 29,310,606円
高齢者交流事業 (eスポーツ体験教室)	【概要】 高齢者が新しいスポーツ形態である「eスポーツ」を気軽に楽しく取り組むことのできる機会の提供を通じて、健康で自立した生活を送るためのきっかけづくりとともに、地域の通いの場等の活性化やコミュニティの向上を目的に実施しました。 【実績】 参加者 20名 【成果】 初めての内容でしたが、アンケート結果に基づく参加者からは高評価でした。これまで子どもに対してゲームはダメと言ってきたが、初めてゲームを体験して夢中になる気持ちがわかったという声が多く。楽しく交流していただいた。 【課題】 全市的に高齢者の健康維持や社会参加へのきっかけづくりが必要です。 【今後の取組】 様々な手段による高齢者の交流機会拡大につながるような事業企画を検討します。 【決算額】 49,331円

12. 指定介護保険事業

(1) 一景島在宅介護支援センター

【概要】利用者の立場に立ち、ケアマネジメントプロセスに基づいた適切なサービス提供に努めました。また、法令遵守に基づき職員間で相互牽制・チェックを行い介護報酬の適正な請求を行いました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	0	2	10	12	19	13	15	8	4	59	71
5	人	0	2	9	11	19	14	15	10	4	62	73
6	人	0	3	9	12	19	13	14	10	3	59	71
7	人	0	3	9	12	19	13	12	9	3	56	68
8	人	0	3	9	12	21	12	11	9	3	56	68
9	人	0	3	9	12	21	12	12	8	2	55	67
10	人	0	3	8	11	21	13	12	8	2	56	67
11	人	0	3	8	11	23	13	10	9	1	56	67
12	人	0	3	8	11	23	13	8	8	1	53	64
1	人	0	2	8	10	23	14	6	9	1	53	63
2	人	0	3	7	10	24	13	6	9	1	53	63
3	人	0	3	8	11	21	13	4	9	1	48	59
計	人	0	33	102	135	253	156	125	106	26	666	801
前年度	人	0	83	121	204	321	241	157	133	41	893	1,097

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
令和5年4月17日	令和5年度 ケアミテイング Vol.1 (オンライン研修)	一景島在介事務所
6月22日	令和5年度 居宅介護支援専門員研修会	ワンテン庁舎
7月26日	松岩・新月地区居宅改組支援事業所 事例検討会	新月公民館
8月25日	令和5年度集団指導 (ラーニング 研修)	一景島在介事務所
9月 5日	介護サービスの質の向上に関する研修	仙台国際センター
10月3日	宮城県高齢者権利擁護研修② (Zoom)	リモート研修
10月30日	令和5年度介護支援専門員地区連絡会	新月公民館
11月8日	気仙沼市立病院地域医療交流会 (活動報告・講演)	アーバン気仙沼 2 階大ホール
12月15日	多職種連携研修 (Zoom)	リモート研修
令和6年1月17日	居宅介護支援事業所 共同事例検討会・研修会等	社協本所 第二会議室
その他	法人内居宅会議 (毎月)	

【成果】旧市内のみならず唐桑地区のご利用者も可能な限り受入れています。また、ご利用者の急変等、突発的なサービスの調整にも取り組み在宅生活の継続ができるよう支援しました。
(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率60.6% 前年度89.3%)

【課題】家庭での介護力が年々低下傾向で、入院した場合に在宅での介護が従来同様行なえず、施設入所となる状況が続いています。また、有資格者の事業所職員の補充ができていない状況により事業所加算の算定要件が満たせず、当初予算に対し減収となりました。

【今後の取組】適正な人員配置により、加算算定要件を満たしながら事業収益の改善を目指します。また専門的な知識の習得や上位資格の取得を図りながら、各種サービス基準の把握や法令順守に努め、職員一人ひとりの更なる資質の向上に取り組み、利用者に寄り添い支援していきます。

【決算】事業活動収入 12,646,340円 事業活動支出 19,092,473円
 その他の活動による収入 7,301,130円 その他の活動による支出 3,303,960円
 (運用基金積立金への操出し3,000,000円含む)
 当期資金収支差額 -2,448,963円
 (前期末支払資金残高から充当)

(2) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、利用者の立場に立ち、生活全体を支える自立支援に向けたケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	11	20	31	50	36	17	27	7	137	168
5	人	13	21	34	44	35	15	29	10	133	167
6	人	12	22	34	43	36	17	23	9	128	162
7	人	13	22	35	43	40	14	22	8	127	162
8	人	13	23	36	42	39	16	21	10	128	164
9	人	13	21	34	45	40	18	23	10	136	170
10	人	11	23	34	47	39	15	23	12	136	170
11	人	13	21	34	49	40	12	23	12	136	170
12	人	14	22	36	49	40	14	19	12	134	170
1	人	14	20	34	49	36	15	17	14	131	165
2	人	13	21	34	51	36	13	18	14	132	166
3	人	14	21	35	51	38	13	19	13	134	169
計	人	154	257	411	563	455	179	264	131	1,592	2,003
前年度	人	142	253	395	575	393	228	284	131	1,611	2,006

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月14日	ケアマネミーティング 住宅改修の際のケアマネの役割	オンライン
6月22日	令和5年度居宅介護支援専門員研修会 介護予防ケアマネジメント	ワンテン庁舎
6月28日	新任職員研修会	本吉公民館
7月3日	capeポジショニングオンラインセミナー	社協本吉支所
7月7日	多職種で認知症を考える会in気仙沼	オンライン
8月18日	虐待防止・権利擁護研修会	保健福祉センターいこい
9月19日	令和5年度キャラバンメイト養成研修	宮城県庁
10月30日	他法人合同事例検討会	社協本吉支所
10月24日, 11月22日	虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会研修会	社協本所
10月3日, 1月26日	虐待防止研修会	事業所内リモート
令和6年1月24日	B C P策定セミナー	事業所内リモート
3月21日	C S接遇マナー研修 (小規模法人連絡会)	保健福祉センターいこい
3月28日	令和5年介護サービス事業者集団指導	市役所ワンテン庁舎
毎月1回	医療連携事例検討会	本吉医院
毎月1回	ケアマネ定例会	社協本吉支所
※事例検討会や伝達会議、職員会議等を定例で実施		

【成果】医療機関や事業所との連携を密にし、利用者や家族が安心して生活できるようサービス調整を図り、新規利用者の依頼に対して、断ることなく早めの対応を行いました。

(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率97% 前年度101.9%)

【課題】認知症の独居・老世帯でご家族が遠方に居住しているケース等、緊急時の対応が難しい利用者や、急な停電により電気料金を滞納していることがサービス事業所からの報告でわかったケースもあり、水道料金や電話料金の支払い確認が必要とされる利用者が増加しています。また、職員の高齢化が進んでいることから、事業所の運営を維持させるために、若い人材の確保が必要です。

【今後の取組】利用者が安心して生活していけるよう、視野を広げ相互に研鑽しあってインフォーマルなサービス提供も含め、関係機関との連携を強化します。また、特定事業所の意味も念頭に置きながら、適切なケアマネジメントに努めます。

【決算】事業活動収入 30,456,470円 事業活動支出 22,039,084円
 施設整備等支出 138,270円
 その他の活動による支出 8,712,040円
 (運用基金積立金への繰出し7,300,000円含む)
 当期資金収支差額 -294,654円
 (前期末支払資金残高から充当)

(3) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ち、質の高いサービスを提供するように努めました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	0	2	8	6	3	4	4	2	19	27	
	回	0	8	41	35	58	87	121	39	340	389	
5	人	0	3	6	5	5	4	4	4	22	31	
	回	0	10	46	47	85	89	124	206	551	607	
6	人	0	2	6	5	5	5	3	3	21	29	
	回	0	9	35	48	76	95	111	80	410	454	
7	人	0	2	5	5	4	5	3	3	20	27	
	回	0	8	36	54	54	103	116	63	390	434	
8	人	0	3	5	6	3	5	4	2	20	28	
	回	0	10	35	62	49	88	154	31	384	429	
9	人	0	3	6	6	3	4	3	3	19	28	
	回	0	13	42	56	46	74	127	47	350	405	
10	人	0	3	6	6	3	4	4	2	19	28	
	回	0	12	52	67	48	82	150	35	382	446	
11	人	0	2	9	9	3	4	3	2	21	32	
	回	0	7	54	61	80	49	81	130	32	372	433
12	人	0	2	11	13	3	6	4	2	25	38	
	回	0	12	70	82	99	53	124	143	35	454	536
1	人	0	4	9	13	9	3	6	5	2	25	38
	回	0	24	51	75	93	58	122	221	36	530	605
2	人	0	4	6	10	3	6	5	2	26	36	
	回	0	25	43	68	98	62	114	161	34	469	537
3	人	0	6	8	14	3	7	4	1	25	39	
	回	0	33	59	92	119	45	137	161	36	498	590
計	人	0	36	83	119	87	41	60	28	262	381	
	回	0	171	564	735	858	683	1,196	1,719	674	5,130	5,865
前年度	人	0	29	56	85	71	51	35	26	235	320	
	回	0	121	377	498	488	882	857	1,138	920	4,285	4,783

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年8月4日	令和5年度介護保険施設等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月5日	令和5年度介護サービス事業者集団指導	社協唐桑支所(資料・動画)
9月12日	令和5年度依存症関連支援者向け研修会	気仙沼保健福祉事務所
令和6年1月12日	BCP研修	気仙沼市民会館
2月14日	BCP研修	気仙沼市民会館
3月27日	令和5年度介護サービス事業者集団指導 スタッフ会議(月1回) 唐桑支所管理者会議(月1回)	ワンテン庁舎 社協唐桑支所

【成果】効率的に回れる訪問ルートを組み、収益の安定を図り、利用者のご家族の意向を尊重し、計画に沿ったサービス提供を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、業務を遂行しました。

(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率127.7% 前年度98%)

【課題】介護者の高齢化や核家族化による介護力低下により、在宅生活の継続が難しく施設入所や転出するケースが増えました。慢性的な介護職の人員不足で今後、新規依頼があった場合の受け入れが難しい状況になっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、一定期間サービスを休止するケースがありました。

【今後の取組】利用者に必要なサービスが提供されるように地域、関係機関との連携を強化し、質の高いケアを実践します。

【決算】事業活動収入 21,319,348円

事業活動支出 14,654,148円
 その他の活動による支出 4,293,280円
 (運用基金事業への繰出4,000,000円含む。)
 当期資金収支差額 2,371,920円

(4) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下、きめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	0	5	14	19	20	12	4	8	5	49	68
	回	0	27	78	105	139	113	103	198	106	659	764
5	人	0	5	13	18	18	12	2	13	6	51	69
	回	0	19	77	96	158	120	7	240	103	628	724
6	人	0	4	12	16	17	10	3	10	5	45	61
	回	0	17	80	97	139	100	52	225	50	566	663
7	人	0	5	11	16	15	12	1	9	5	42	58
	回	0	19	81	100	114	149	8	257	89	617	717
8	人	0	5	12	17	16	12	1	10	6	45	62
	回	0	32	84	116	114	135	9	219	114	591	707
9	人	0	6	12	18	16	10	2	8	6	42	60
	回	0	16	92	108	117	107	12	204	105	545	653
10	人	0	7	12	19	14	9	2	9	6	40	59
	回	0	34	86	120	103	91	9	205	115	523	643
11	人	0	7	12	19	13	10	2	9	5	39	58
	回	0	33	89	122	97	88	5	162	127	479	601
12	人	0	7	12	19	15	13	3	8	5	44	63
	回	0	31	90	121	103	150	13	166	127	559	680
1	人	0	7	13	20	15	12	4	9	6	46	66
	回	0	29	92	121	98	149	29	164	123	563	684
2	人	0	6	12	18	15	11	4	8	6	44	62
	回	0	29	94	123	103	131	25	132	148	539	662
3	人	0	7	12	19	16	11	4	8	6	45	64
	回	0	36	100	136	110	118	47	191	241	707	843
計	人	0	71	147	218	190	134	32	109	67	532	750
	回	0	322	1,043	1,365	1,395	1,451	319	2,363	1,448	6,976	8,341
前年度	人	3	28	156	187	232	199	46	117	102	696	883
	回	4	140	1,053	1,197	1,772	2,686	852	2,719	2,216	10,245	11,442

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年 5月25日	安全運転管理者・副安全運転管理者講習会	はまなすの館
6月26日	介護現場で役立つマナーとコミュニケーションスキル	本吉支所地域活動室
8月18日	虐待防止・権利擁護研修会	保健福祉センターいこい
9月 5日	介護サービスの質の向上に関する事業所管理者等研修会	仙台国際センター
9月15日	メンタルヘルス研修会	事業所内 (Web研修)
9月26日	薬の形の違い、睡眠薬について	事業所内 (Web研修)
10月23日	ハラスメント防止研修	事業所内 (Web研修)
11月14日, 17日, 22日	救命救急講習会	本吉支所地域活動室
11月28日, 12月26日, 1月29日	虐待防止研修会	本吉支所地域活動室
12月5日	認知症カフェ	本吉支所地域活動室
令和6年1月12日, 2月14日	BCP作成研修会	市民会館
3月21日	障害福祉サービス集団指導	松峰園内 (Web研修)
3月29日	介護サービス事業所集団指導	ワンテン庁舎
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修 (訪問入浴合同で毎月開催)	

【成果】新規や訪問回数増の変更依頼等にも迅速に対応し、要望に沿ったサービスを提供することができました。新型コロナウイルス感染による利用者の受け入れについても、職員の意識と感染対策を強化し、感染拡大させることなく対応する事ができました。職員の濃厚接触等による代替人員配置についても、相互に協力し合い対応することができました。唐桑分からの受け入れも同行訪問によりスムーズに移行する事ができました。

(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率141.4% 前年度86.7%)

【課題】新型コロナウイルス濃厚接触による職員の休みに対して、代替人員配置も早急に対応しましたが、日数が嵩むにつれて難しくなっている現状もあります。職員体制も再雇用職員が多く、技術継承や、質の高いサービスを継続させるために、人材確保と育成が必要不可欠です。

【今後の取組】今後もニーズに合わせた確かな知識と質の高い介護サービスを提供できるよう、研修会に積極的に参加し、情報共有を密にしたチームケアができるよう、全職員で連携を図りながら取り組んでまいります。また、新規利用者獲得に向けて周知活動を行い安定した経営ができるよう努めます。

【決算】事業活動収入 35,334,087円

事業活動支出 35,902,898円
その他の活動による支出 598,080円
当期資金収支差額 -1,166,891円

(5) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	0	1	3	11	6	21	21
	回	0	0	0	0	4	12	47	25	88	88
5	人	0	0	0	0	1	1	16	6	24	24
	回	0	0	0	0	4	4	59	25	92	92
6	人	0	0	0	0	1	1	14	5	21	21
	回	0	0	0	0	5	4	53	22	84	84
7	人	0	0	0	0	2	0	11	5	18	18
	回	0	0	0	0	12	0	39	25	76	76
8	人	0	0	0	0	2	2	10	6	20	20
	回	0	0	0	0	12	3	51	33	99	99
9	人	0	0	0	0	2	5	11	5	23	23
	回	0	0	0	0	9	17	53	26	105	105
10	人	0	0	0	0	2	4	11	7	24	24
	回	0	0	0	0	11	23	57	39	130	130
11	人	0	0	0	0	1	4	10	7	22	22
	回	0	0	0	0	4	22	45	37	108	108
12	人	0	0	0	0	0	5	9	8	22	22
	回	0	0	0	0	0	17	37	33	87	87
1	人	0	0	0	0	0	3	7	7	17	17
	回	0	0	0	0	0	11	38	28	77	77
2	人	0	0	0	0	1	3	9	6	19	19
	回	0	0	0	0	1	11	41	30	83	83
3	人	0	0	0	0	1	3	9	8	21	21
	回	0	0	0	0	5	12	43	38	98	98
計	人	0	0	0	0	14	34	128	76	252	252
	回	0	0	0	0	67	136	563	361	1,127	1,127
前年度	人	0	0	0	0	12	42	108	114	276	276
	回	0	0	0	0	49	170	465	548	1,232	1,232

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年 6月26日	介護現場で役立つマナーとコミュニケーションスキル	社協本吉支所
8月18日	虐待防止・権利擁護研修会	保健福祉センターいこい
9月5日	介護サービス質の向上に関する事業所管理者等研修会	仙台国際センター
9月15日	メンタルヘルス講習会	事業所内
9月15日	気仙沼圏域認知症ケア推進研修会（基礎編）	社協本吉支所
9月26日	薬の形の違い、睡眠薬について	本吉支所地域活動室
10月23日	ハラスメント防止研修	事業所内（Web研修）
11月14日、17日、22日	救命救急講習会	本吉支所地域活動室
11月23日、12月26日、1月29日	虐待防止研修会	本吉支所地域活動室
12月5日	認知症カフェ	本吉支所地域活動室
令和6年1月12日、2月14日、3月29日	BCP作成研修会	市民会館
	介護サービス事業所集団指導	ワンテン庁舎
	事業所内会議：職員会議、伝達研修（訪問介護合同で毎月開催）	

【成果】終末期の方の依頼が多く、長期的なサービス提供に繋がりにくいものの、迅速に対応し、医療スタッフとの連携を図りながら、ご逝去直前までサービスを提供することができました。9月に男性職員の異動に伴い女性オペレーターの育成が必要となりましたが、不安なく従事できるよう職員間で連携し、事故等なく対応することができました。

（令和5年度 介護保険事業収入目標達成率82% 前年度83.7%）

【課題】新規利用があるものの入院や逝去する方も多く稼働率が減少する時もありました。男性職員の異動と新人職員の退職に伴い女性スタッフのみの稼働もあり、利用者対応や冬期間の業務車両の運転含め心身の負担が増す状況にあり、社協全体での職員の確保が必要です。

【今後の取組】今後も積極的な周知活動と新規を断らない対応を継続し、訪問の調整をしながら安定経営を目指します。また、研修にて各自技術の習得に努め、情報共有や職員間の連携を密に本吉地域の唯一の訪問入浴事業所として、より良いサービスが提供できるようケアの向上を実践します。

【決算】事業活動収入	16,989,662円	事業活動支出	16,031,009円
		その他の活動による支出	709,610円
		当期資金収支差額	249,043円

(6) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と、家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	12	17	27	17	11	8	2	65	82
	回	30	87	117	247	158	102	72	28	607	724
5	人	6	12	18	26	17	13	8	2	66	84
	回	37	95	132	248	192	104	71	28	643	775
6	人	6	12	18	27	17	12	8	2	66	84
	回	40	90	130	256	179	99	65	32	631	761
7	人	6	12	18	29	17	10	7	2	65	83
	回	38	92	130	282	161	88	77	33	641	771
8	人	7	12	19	29	16	9	9	2	65	84
	回	43	81	124	285	153	88	73	35	634	758
9	人	7	11	18	27	15	10	7	2	61	79
	回	43	82	125	258	142	85	62	35	582	707
10	人	7	10	17	28	17	9	7	2	63	80
	回	41	77	118	277	156	76	65	33	607	725
11	人	6	9	15	30	16	7	9	1	63	78
	回	37	66	103	292	147	61	82	16	598	701
12	人	6	9	15	32	16	6	9	1	64	79
	回	35	62	97	285	143	49	89	16	582	679
1	人	5	8	13	34	16	6	10	1	67	80
	回	28	53	81	271	139	51	92	15	568	649
2	人	6	9	15	32	16	6	10	1	65	80
	回	33	67	100	278	148	57	103	14	600	700
3	人	7	9	16	33	14	5	11	1	64	80
	回	36	67	103	293	137	44	108	13	595	698
計	人	74	125	199	354	194	104	103	19	774	973
	回	441	919	1,360	3,272	1,855	904	959	298	7,288	8,648
前年度	人	88	144	232	339	178	105	136	16	774	1,006
	回	507	1,148	1,655	3,038	1,810	858	1,085	148	6,939	8,594

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年5月29日	第1回ハザードマップ研修 (唐桑地区)	市唐桑出張所
6月6日	令和5年度 介護講座 「感染予防と対策」	宮城県介護研修センター
8月2日	介護サービス事業者集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月3日	安全運転管理者・副安全運転管理者 講習	はまなすの館
9月5日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	仙台国際センター
9月12日	令和5年度 依存症関連支援者向け研修会	気仙沼保健所
9月14日	令和5年度 介護講座 「養介護施設従事者等による高齢者虐待の防止と権利擁護」	宮城県介護研修センター
9月15日	令和5年度 気仙沼圏域認知症ケア推進研修会	気仙沼保健所
9月29日	令和5年度 介護講座 「摂食・嚥下障害と食事介助」	宮城県介護研修センター
10月12日	令和5年度 第2回施設長・管理者会議	春園苑
10月24日	令和5年度第1回虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会研修	社協本所
11月14日	第2回ハザードマップ研修 (唐桑地区)	市唐桑出張所
11月17日	令和5年度気仙沼圏域認知症ケア推進研修会	気仙沼市
11月22日	令和5年度第2回虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会研修	気仙沼市
11月25日	地域包括フォーラム	気仙沼市
令和6年1月12日	第1回BCP(作成・改善)研修会	気仙沼市民会館
2月14日	第2回BCP(作成・改善)研修会	気仙沼市民会館
随時	本所事故防止対策委員会・ワーキンググループ会議・虐待防止・身体拘束委員会研修会	

【成果】臨時利用、利用日変更、通院後の利用受け入れと利用者、家族の要望に100%対応しました。

(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率92.6% 前年度100.9%)

【課題】コロナウイルスが5類に移行しましたが、利用者や家族の心配は以前と変わらず、感染や濃厚接触者となった場合に長期の自宅静養となり利用者減となっていることから、引き続き徹底した感染対策を講じて業務に取り組みます。

職員の体調不良等の訴えが多く人員配置に支障が出ることから、体制の整備が必要です。

【今後の取組】更なる感染症対策を講じて業務を継続できるよう職員全員で取り組みます。

【決算】事業活動収入 68,387,948円 事業活動支出 68,649,839円
 その他の活動による収入 4,100,000円 その他の活動支出 1,310,040円
 (運用基金積立金からの繰入 4,100,000円 当期資金収支差額 1,358,069円)

(7) やすらぎデイサービスセンター

【概要】いつまでもご自宅での生活を続けられるように、ご利用者の身体機能維持及び生活の質の向上を目指しながら介護サービスの提供に努めました。職員一人ひとりが笑顔で迎え、ご利用者が他者との交流を通じて生きがいを持ちながら生活を送り、介護者家族には身体的・精神的な介護負担の軽減が図られるよう職員全員で丁寧な介護業務に取り組みました。

【事業実績】

【事業実績】												
月	事業対象者	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	
4	人	-	1	3	4	19	8	10	4	3	44	48
	回	-	4	23	27	176	57	71	36	29	369	396
5	人	-	1	4	5	19	8	9	4	2	42	47
	回	-	4	31	35	181	64	87	39	4	375	410
6	人	-	1	2	3	18	10	12	4	1	45	48
	回	-	4	15	19	154	76	93	34	3	360	379
7	人	-	1	2	3	20	9	12	4	-	45	48
	回	-	3	17	20	173	68	93	36	-	370	390
8	人	-	1	2	3	20	10	12	4	-	46	49
	回	-	5	17	22	164	89	109	40	-	402	424
9	人	-	1	2	3	20	10	10	5	1	46	49
	回	-	4	17	21	170	83	98	38	2	391	412
10	人	-	1	2	3	19	9	9	6	1	44	47
	回	-	4	16	20	172	71	86	39	6	374	394
11	人	-	3	2	5	15	10	10	5	1	41	46
	回	-	14	18	32	140	74	78	35	8	335	367
12	人	-	4	3	7	15	9	10	4	1	39	46
	回	-	14	22	36	137	73	78	28	6	322	358
1	人	-	4	3	7	15	9	10	4	1	39	46
	回	-	14	20	34	118	75	71	26	6	296	330
2	人	-	4	2	6	14	10	8	3	1	36	42
	回	-	15	11	26	115	77	75	28	5	300	326
3	人	-	4	3	7	13	8	8	3	1	33	40
	回	-	12	12	24	117	71	74	29	7	298	322
計	人	0	26	30	56	207	110	120	50	13	500	556
	回	0	97	219	316	1,817	878	1013	408	76	4,192	4,508
前年度	人	10	24	26	60	231	92	154	72	20	569	629
	回	40	113	131	284	1,964	757	1,188	617	328	4,854	5,138

【研修・会議参加状況】

月 日	主な会議・研修	開催場所
令和5年 4月20日	職員会議	事業所内
8月2日	介護サービス事業所 集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月3日	安全運転管理者法定講習	はまなすの館
8月22日	職員会議	事業所内
9月21日	職員会議	事業所内
10月24日	虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	本所
12月7日	要配慮者利用施設の避難確保計画作成説明会	ワンテンビル 大ホール
令和6年 3月27日	介護サービス事業所 集団指導（気仙沼市） その他、伝達研修を実施	ワンテンビル 大ホール 事業所内

【成果】複数回利用していた方が相次いで入院・施設入所となり利用人数・収入が減少しました。常日頃より居宅介護支援事業へ声掛けしながら新規利用者の確保に努め、現在は大島地区や階上地区からの利用を受け入れしています。

（令和5年度 介護保険事業収入目標達成率75.4% 前年度102%）

【課題】家庭での介護力の低下により、施設入所が増加し新規利用者確保が難しい状況が続いています。今後、経年劣化による車両の入れ替えや施設設備・備品等の修繕・購入等も必要となり、さらに物価の高騰や原油高の影響を受け費用も増加し、施設の運営に影響を及ぼしています。

【今後の取組】各居宅へ定期訪問を継続し、新規の利用者を確保できるよう努めます。また、サービスの質の向上を常に念頭に置き、ご家族との情報の共有・カンファレンス等で日々議論し、職員の資質向上を目指しながら安定した事業運営に努めます。また、支出を抑えるため、取引業者の見直しや水道光熱費や消耗品費の削減、業務の効率化を図り経費の削減を行います。

【決算】事業活動収入	37,120,896円	事業活動支出	44,692,997円
その他の活動による収入	9,500,134円	その他の活動による支出	624,480円
（運用基金積立金からの繰入	7,200,000円）	当期資金収支差額	1,303,553円
		（前期末支払資金残高から充当）	

(8) 大谷デイサービスセンター

【概要】住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、自立支援を目指したサービス提供に努め、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに家族の負担軽減を図りました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	1	8	9	14	13	6	1		34	43
	回	4	47	51	107	139	45	8		299	350
5	人	1	8	9	15	13	6	1		35	44
	回	4	55	59	113	142	54	9		318	377
6	人	1	8	9	14	14	6	1		35	44
	回	4	57	61	107	145	50	9		311	372
7	人	2	8	10	13	14	5	1	1	34	44
	回	7	50	57	103	149	47	6	8	313	370
8	人	3	9	12	13	13	5	1	2	34	46
	回	11	61	72	114	134	44	10	12	314	386
9	人	3	8	11	15	11	7	1	1	35	46
	回	11	56	67	140	104	68	8	9	329	396
10	人	2	9	11	16	11	7	1	1	36	47
	回	7	55	62	145	94	65	9	7	320	382
11	人	2	9	11	17	11	5	2	2	37	48
	回	7	54	61	158	90	37	6	21	312	373
12	人	3	9	12	18	10	5	1	2	36	48
	回	12	57	69	160	81	44	1	23	309	378
1	人	3	9	12	17	10	4	0	2	33	45
	回	11	54	65	137	87	33	0	25	282	347
2	人	3	9	12	18	8	5	0	2	33	45
	回	12	53	65	133	61	43	0	16	253	318
3	人	3	9	12	17	8	3	0	1	29	41
	回	12	54	66	147	51	32	0	15	245	311
計	人	27	103	130	187	136	64	10	14	411	541
	回	102	653	755	1,564	1,277	562	66	136	3,605	4,360
前年度	人	21	99	120	136	150	108	17	20	431	551
	回	83	666	749	1,047	1,244	853	80	218	3,442	4,191

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月8日	内部研修（運営推進会議での意見をもとに話し合い）	事業所内
5月29日	内部研修（高次脳機能障害について）	事業所内
6月29日	事故防止対策委員会伝達研修	事業所内
8月18日	虐待防止・権利擁護研修会	保健福祉センターいこい
8月22日	講師派遣研修（基本的な感染症対策）	事業所内
9月12日	津波総合訓練	事業所から第一次避難所へ
10月2日	第1回運営推進会議	事業所内
10月24日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	本所・第二会議室
11月22日	第2回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	本所・第二会議室
12月3日	AED研修（救命入門コース）	事業所内
12月8日	3デイ連絡会議	やすらぎデイサービスセンター
12月30日	接遇研修	事業所内
令和6年1月12日	宮城県キャリアパス支援事業研修	まち・ひと・しごと交流プラザ
2月10日	感染症対策研修・演習	事業所内
3月18日	職員スキルアップ研修「接遇」	保健福祉センターいこい
3月25日	第2回運営推進会議	事業所内
3月29日	集団指導	ワンテン庁舎 大ホール
その他	職員会議、伝達研修、地区ハザードマップ作成ワークショップ	

【成果】季節感のある制作等のレクリエーションを計画的に提供し、個々の能力に応じて参加され、ADLの向上や認知機能の低下予防につなげることができました。野菜作りでは、耕作、種まき、草取り、収穫に取り組み、給食やおやつで味わい、発語が増え会話の広がりにもつながりました。3年ぶりに運営推進会議を対面で行い、活発な意見交換や評価を受け、振り返りや学びの機会になりました。2月、3月と利用者数が大幅に減少しましたが、概ね8割の利用率を維持し、年間介護報酬目標額を超えることができました。

（令和5年度 介護保険事業収入目標達成率101.2% 前年度106.2%）

【課題】体制上外部研修への参加が厳しく内部研修で補いました。地域開放日を実施しましたが参加者が少ない状況でした。地域住民に認知され貢献できるよう、周知の工夫を図ることが必要です。経年劣化により施設設備も消耗してきており対策が課題となっています。

【今後の取組】健康管理に留意し互いに研鑽し合うなど職員間の士気高揚に努めます。また、利用者や介護者へのアンケートを実施し、意見を運営に反映させ満足度向上を図ります。運営推進会議での意見をもとに地域交流会を設定し、地域の方々が気軽に立ち寄り相談できるよう、地域に開かれた施設を目指します。

【決算】事業活動収入 37,914,526円

事業活動支出 34,146,329円
 施設整備等支出 1,056,000円
 その他の活動支出 3,824,960円
 （運用基金積立金への繰出し3,500,000円含む。）
 当期資金収支差額 -1,112,763円

(9) グループホーム桑の実

【概要】施設理念「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします。」とパーソンセンタードケアを念頭に置き、入居者の個別ケアを実践してきました。コロナ禍が続いており活動が制限されますが、できることを工夫して行い、入居者様がストレスにより認知症を進行させないように留意し、事業を運営しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	4	2	3	0	0	9	9
	回	0	0	120	60	90	0	0	270	270
5	人	0	0	4	2	3	0	0	9	9
	回	0	0	124	62	93	0	0	279	279
6	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	120	90	60	0	0	270	270
7	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	124	93	62	0	0	279	279
8	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	124	93	62	0	0	279	279
9	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	120	90	60	0	0	270	270
10	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	124	93	62	0	0	279	279
11	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	120	90	60	0	0	270	270
12	人	0	0	4	3	2	1	0	10	10
	回	0	0	124	68	62	1	0	255	255
1	人	0	0	4	3	2	0	0	9	9
	回	0	0	124	84	45	0	0	253	253
2	人	0	0	5	3	1	0	0	9	9
	回	0	0	118	87	29	0	0	234	234
3	人	0	0	5	2	1	1	0	9	9
	回	0	0	155	51	31	31	0	268	268
計	人	0	0	50	33	24	2	0	109	109
	回	0	0	1,497	961	716	32	0	3,206	3,206
前年度	人	0	0	38	27	36	7	0	108	108
	回	0	0	1,154	821	1,095	198	0	3,268	3,268

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年 6月30日	第1回桑の実運営推進会議	グループホーム桑の実
7月28日	第2回桑の実運営推進会議	グループホーム桑の実
8月22日	唐桑地区ハザードマップ・ワークショップ	唐桑公民館
8月29日	社協事故防止対策委員会	社協本所
9月5日	サービスの質向上研修会（高齢者虐待防止）	仙台市
9月15日	認知症ケア研修	気仙沼保健福祉事務所
9月25日	夜間想定避難訓練	グループホーム桑の実
10月14日	一万人市民委員会宮城県民の会 外部評価	〃
10月31日	気仙沼市高齢介護課 実地指導	〃
11月1日	権利擁護WEB研修	鹿折・唐桑包括支援センター
11月14日	唐桑地区ハザードマップワークショップ	唐桑公民館
11月17日	事業所指定消防訓練	気仙沼広域消防唐桑出張所
11月17日	認知症ケア研修	気仙沼保健所
11月22日	社協第二回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	社協本所
11月30日	第3回桑の実運営推進会議	グループホーム桑の実
12月13日	入居・退居判定会議	〃
令和6年 1月12日	BCP防災リーダー研修	気仙沼市民会館
2月15日	入居・退居判定会議	グループホーム桑の実
2月29日	第4回桑の実運営推進会議	資料送付により開催
2月11日	第5回桑の実運営推進会議	燦さん館会議室
3月22日	第6回桑の実運営推進会議（家族説明会）	燦さん館会議室
3月29日	気仙沼市高齢介護課 集団指導	気仙沼市ワン・テンビル
毎月開催	唐桑支所管理者会議、社協ワーキング会議 桑の実ケア会議・スタッフ会議（各種内部研修）	

【成果】職員の感染症に対する意識を高めたことで、新型コロナウイルス感染症に、職員、入居者ともに一人も罹患者を出すことなく、利用される方々に安心して生活できる環境を提供することができました。燃料費や食材等物価の高騰に対応するために、やむなく利用料の食費と光熱費の見直しを行いました。入居者様ご家族のご理解をいただき、「今後も社協の経営でお願いしたい」と温かいお言葉をいただきました。

(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率88.6% 前年度100.9%)

【課題】体調の急変や転倒による怪我が予想される入居者様がほとんどであることから、緊急時の対応や環境の整備などを見直す必要があります。感染症の知識や意識を高め、施設にウイルスを持ち込まない取り組みの強化が必要です。経営面では入退居の業務を効率よく行う工夫と、減少傾向にある入居申請者を増やすための取り組みが必要です。今後も続くことが予想される物価高騰に対応するための対策を、さらに考えていくことが喫緊の課題です。

【今後の取組】健全な施設経営を念頭に置き、事業活動を細部まで見直し、入退居作業の効率化を図り、利用率を100%に近づけるよう努力いたします。また、経営を常に意識し、更なる経費の削減に鋭意努力いたします。利用される方々に、住み慣れた地域で、安心して生活が継続出来る施設づくりを行ってまいります。

【決算】事業活動収入	38,926,037円	事業活動支出	38,639,834円
その他の活動による収入	2,260,000円	その他の活動による支出	1,182,246円
(運用基金繰入2,260,000円)		当期資金収支差額	1,077,760円

(10) もとよし福祉用具貸与事業所(福祉用具貸与)

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	8	16	24	12	23	16	19	6	76	100
5 人	9	15	24	12	25	17	19	8	81	105
6 人	10	16	26	15	22	16	14	8	75	101
7 人	10	16	26	14	24	13	14	7	72	98
8 人	11	17	28	14	22	15	15	8	74	102
9 人	10	19	29	15	24	16	15	7	77	106
10 人	9	19	28	16	23	14	16	9	78	106
11 人	8	18	26	16	26	12	17	9	80	106
12 人	6	20	26	17	28	13	13	8	79	105
1 人	5	20	25	19	27	13	12	7	78	103
2 人	5	18	23	19	27	11	13	7	77	100
3 人	6	19	25	20	28	10	14	9	81	106
計 人	97	213	310	189	299	166	181	93	928	1,238
前年度 人	108	218	326	201	290	144	235	84	954	1,280

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月18日	福祉用具ショートWeb研修	オンライン
6月26日	コミュニケーションスキルアップ研修会	オンライン
7月29日	認知症キャラバン・メイトスキルアップ研修会	ワンテン庁舎
8月7日	介護サービス事業者集団指	気仙沼保健福祉事務所
8月18日	小規模法人連携事業協議会職員スキルアップ研修会	保健福祉センターいこい
9月15日	認知症ケア推進研修会(基礎編)	オンライン
10月24日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・研修会	本所
11月22日	第2回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・研修会	本所
令和6年1月24日	厚生労働省「介護事業者のためのBCP作成セミナー」(訪問系)	オンライン
3月18日	小規模法人連携事業協議会職員スキルアップ研修会「接遇」	保健福祉センターいこい
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修(随時開催)	

【成果】利用される方の身体状況や住環境などの把握を丁寧に行い、その方にあった福祉用具を貸与することで、利用者の自立支援や介護者の負担軽減に繋げることができました。また、社協独自の貸出と合わせて対応することで、新規利用者の確保に努めました。

(令和5年度 介護保険事業収入目標達成率91.1% 前年度109.3%)

【課題】寒暖差の影響などで、利用者の体調変化による入院や入所などにより解約となるケースが多く、利用者数の中々増えない状況にありました。また、次年度の介護保険法改正に向けた検討を早急に行っていく必要があります。

【今後の取組】介護保険法の改正など情報収集を行いながら適切に対応していき、利用者を増やすための取組みを継続し、いち早く法改正などに対応していきながら安定経営に努めて行きます。

【決算】事業活動収入	14,210,210円	事業活動支出	13,558,131円
		その他の活動による支出	103,860円
		当期資金収支差額	548,219円

(11) もとよし福祉用具貸与事業所（特定福祉用具販売）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
5 人	0	0	0	1	1	1	1	0	4	4
6 人	0	1	1	0	2	2	1	0	5	6
7 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 人	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2
9 人	0	1	1	0	1	1	0	0	2	3
10 人	1	1	2	2	0	0	0	1	3	5
11 人	0	3	3	1	0	1	0	0	2	5
12 人	1	0	1	1	0	0	0	0	1	2
1 人	0	1	1	0	0	1	0	0	1	2
2 人	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
3 人	0	1	1	3	0	0	1	0	4	5
計 人	2	8	10	9	4	6	4	2	25	35
前年度 人	3	4	7	5	5	1	3	0	14	21

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和5年4月18日	福祉用具ショートWeb研修	オンライン
6月26日	コミュニケーションスキルアップ研修会	オンライン
7月29日	認知症キャラバン・メイトスキルアップ研修会	ワンテン庁舎
8月7日	介護サービス事業者集団指	気仙沼保健福祉事務所
8月18日	小規模法人連携事業協議会職員スキルアップ研修会「虐待防止・権利擁護」	保健福祉センターいこい
9月15日	認知症ケア推進研修会（基礎編）	オンライン
10月24日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・研修会	本所
11月22日	第2回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・研修会	本所
令和6年1月24日	厚生労働省「介護事業者のためのBCP作成セミナー」（訪問系）	オンライン
3月18日	小規模法人連携事業協議会職員スキルアップ研修会「接遇」	保健福祉センターいこい
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】ご利用される方が在宅で安心して快適に福祉用具を活用して生活できるよう、サービス提供や周知活動により、ご利用される方や居宅事業所ケアマネジャー等に選ばれる事業所になってきたことにより、利用者数も昨年を上回る実績にすることができました。
（令和5年度 介護保険事業収入目標達成率165.4% 前年度88.4%）

【課題】利用者数の増減や販売する福祉用具内容により収入が変動することから、安定した事業展開が難しい状況にあります。

また、福祉用具の種類が多岐にわたることから、専門相談員のスキルアップも常に必要な状況にあります。

【今後の取組】今後も安定して販売が継続できるよう周知の継続と、貸与事業と合わせて総合的な事業実施と職員のスキルアップを図りながら、利用者の自立支援や介護者の負担軽減に繋がるサービスを提供を行い、事業所の安定経営に努めてまいります。

【決算】事業活動収入 1,242,442円 事業活動支出 1,145,461円
当期資金収支差額 96,981円